

6月市議会
で奮闘

雇用・景気対策は急務



申し入れる市議団(左から谷藤市議、金子市議、二瓶市議、桜井市議) 右側は財政部長

定例の6月市議会が6月5日から24日まで開かれました。

党市議団は、景気・雇用、医療や介護、平和・教育など、日頃市議団に寄せられている市民の声を取り上げ、常任委員会と一般質問で全員が奮闘しました。

以下、5人の一般質問の主なものをご紹介します。

雇用・景気対策で市長に申し入れして、一般質問

金子貞作市議

党市議団は6月15日、

国の補正予算「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」(市川市の予算額5億2800万円)を活用し、雇用・景気対策を緊急に推進するよう市長に申し入れ書を提出しました。主な柱は、「雇用対策事業」に力をいれ、市民生活密着型の公共事業を拡大し、工事の発注に当たっては小規模事業者にも配慮し、地域経済への波及を重視すること等です。

金子貞作市議は、市民生活と営業を応援することを市政の最優先課題として位置づけ、体制も強化し、全庁あげて取り組むよう要求しました。

それに対し、小川財政部長は、雇用・景気対策が重要であるとの認識を示し、9月補正に向けて事業内容を精査している段階で

あり、党市議団の申し入れも含め考えると答弁しました。



市内公共工事の入札・契約は市内業者優先に

谷藤利子市議

行徳南部地域の広尾に工事中の広尾防災公園は、地域の憩いの場所・防災拠点として、来年4月に開園することになっています。

しかし、電気設備工事は柏市の業者が市の予定価格の55%、一番大きな造園土木5種類の工事でも、松戸市の業者が市の予定価格の74%、いずれも異常な低価格で落札され、市内業者が排除されています。

公共工事が激減している一方で、市外まで工事の一般競争入札参加を広げたために、低価格では

仕事ができない市内業者の入札がどんどん減っていき、雇用も経営も悪化しています。

谷藤利子市議は、市内業者と懇談した際に寄せられた声をもとに、「市川市の雇用確保と地場産業育成のためにも、市の公共工事の入札・契約は市内業者優先にし、適正な価格に引き上げて行くべきだ」と主張しました。

市川市は今年4月から一定程度の改善方針を出したばかりでした。

しかし谷藤市議の指摘に対し、「設計・積算は現場の社会的自然的条件を十分考慮し、現場に見合ったものになるよう、周知徹底を図る」など前向きな答弁がありました。



市内業者から寄せられている主な声

★市の設計積算について

- ・現場を十分把握した施工方法と積算をして欲しい。
- ・単価が安くて受注できない。市場に見合った単価にして欲しい。
- ・設計・管理はコンサルタントまかせではなく、市の担当者が専門家としてチェックして欲しい。

★入札制度について

- ・総合評価競争入札方式をすべて対象としないで欲しい。(地域要件を評価に入れて欲しい)
- ・市内業者が受注できる機会を拡大して欲しい。

日本共産党市川市議団

2009年7月10日発行 第230号

議会報告

連絡先: 市川市役所内日本共産党控室
(334)1111内線4591

市議団ホームページをご覧ください
<http://www.jcp-ichikawa.com/>

高齢者福祉施設の増設を強く要求

清水みな子市議

清水市議は、国分と八幡に住むご夫婦から、病院から追い出され施設入所を希望するがなかなか入れないなど切実な相談を受けたことを紹介しながら、老人福祉施設増設を強く要望しました。

特に北西部地域の高齢化率が高いにもかかわらず、「国分に1か所あるから優先圏域に入っていない」という、前回2月議会での一般質問

の答弁は、乱暴で理屈にあわないと指摘し、施設に入りたくても入れない人たちがたくさんいる現状をどう打開しようとしているのか、市内の特別養護老人ホームの待機者が多い現状と認識について、質問しました。

答弁では、待機者の数は、要介護1〜5の方で、714人、入院中の方や施設に入っている方を除くと、235人と推察しているとし、高齢化がすすむなかで、居



危険な道路や歩道の調査(左から岡田県議、清水市議、桜井市議)

家で、住宅介護サービスの拡充につとめていく。今年度から3カ年で「老人福祉計画」で、特養ホームも少し増やすことにしている

とされていますが、「計画」のテンポでは、いま困っている人たちの要望には応えられない。前倒ししても、老人福祉施設をつくるべきだと、強く要望しました。



侵略美化の教科書を学校に持ち込ませるな

桜井雅人市議

4月9日、文科省が来年度から使われる教科書の検定結果を公表しましたが、その中には「新しい歴史教科書をつくる会」のメンバーが執筆した中学校の歴史教科書が含まれています。「つくる会」の教科書は、日本が行った侵略戦争を自存自衛のための戦争で、アジア諸国の独立につながったかの様に記述しております。侵略戦争を美化する教科書を学校

誰もが安心して利用できる介護保険制度に

二瓶忠良市議

介護保険制度がスタートしてから10年。制度の見直しは何度も行われ、09年度は介護保険料を引き上げ、介護認定の見直しも行われました。サービス利用者から、介護度が軽度になったとの声が寄せられています。国会では日本共産党の小池晃参院議員

が、厚労省の内部文書を示し、予算削減の為であることとを追及し、厚労省も認めざるを得ませんでした。二瓶市議は必要なサービスが削られることのないようにするべきだと主張しました。これに対し、市川市は、経過措置もあるので介護度の是正は可能であるとの回答でしたが、新制度への変更以後の実態は、変更なし61・7%、重度に15・6%、軽度程度に22・7%などに変化して

います。サービス利用者に対しての適正な対応が求められます。また、施設を利用したくとも、施設が不足している為に「入居できない」「居宅介護も限界」などの声が多く聞かれます。市内に特養ホームなどの施設増設が必要です。介護保険制度は、崩壊の危機状態です。市は国や県に対し、予算を増やし誰もが安心して老後を過ごすことができるよう強く求めるべきだと主張しました。

に持ち込むことは絶対に許さないよう、教育委員会に求めました。教育長は、教科書については「教科用図書葛南西部採択地区協議会」で研究、協議のうえ採択されるので、まだ協議会が開かれない中で教科書の善し悪しを言うのは望ましくないと答弁しました。しかし「自衛のための戦争」「アジア解放のための戦争」といった内容については、教材

としては不適切であるとの認識を示し、不適切なものには適切に指導対応すると答弁しました。桜井市議はさらに、採択にかかわる協議が非公開になっている、協議会メンバーに教職員が含まれていない、検定を受けた教科書の展示会場が市内に1カ所しかない等、採択に保護者や現場の先生がほとんど関与できない点についても改善を求めました。

議員の新しい役職

金子貞作市議

会派代表、民生委員会、外環特別委員会、都市計画審議会、大町レクリエーションゾーン運営協議会

谷藤利子市議

議会運営委員会、総務委員会、行徳臨海部特別委員会、建設委員会、総合計画審議会

二瓶忠良市議

環境文教委員会、廃棄物減量等推進審議会

清水みな子市議

建設委員会、交通対策審議会、勤労福祉センター運営委員会

桜井雅人市議

委員